



平成 30 年 2 月 16 日

各 位

会社名 株式会社 さ い か 屋
 代表者 取締役社長兼社長執行役員 岡本 洋三
 (コード番号 8254 東証第 2 部)
 問合せ先 経理部長 堀 江 肇
 (TEL. 046-845-6803)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 10 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 2 月期通期（連結・個別）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,550	150	35	40	12.82
今回修正予想 (B)	19,840	△30	△140	△135	△43.26
増減額 (B-A)	△710	△180	△175	△175	
増減率 (%)	△3.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	21,060	△105	△202	△185	△59.43

平成 30 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,530	125	10	20	6.41
今回修正予想 (B)	19,820	△50	△165	△155	△49.67
増減額 (B-A)	△710	△175	△175	△175	
増減率 (%)	△3.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	21,024	△108	△202	△206	△66.27

2. 修正の理由

平成 30 年 2 月期における前回予想以降の状況につきましては、お歳暮ギフトの受注が贈答需要の減退から計画値を下回ったこと、主力の衣料品では昨年未までは防寒衣料を中心に堅調だったものの年明け以降のクリアランスセールが計画比で約 1 割減と低調に推移したこと、更に大雪による販売機会の喪失もあったことから、売上高が計画を下回りました。

また、ローコストオペレーションは継続実施しているものの、一部経費の増加もあり、販売収益の減少分を埋めるには至りませんでした。

このような足許の状況を考慮し、2 月についても売上高を保守的に見直した結果、売上、利益ともに予想を修正いたしました。

今後につきましては、当社商圏の環境変化に対応して店舗営業力を強化すると共に、より踏み込んだ経費低減策に取り組んでいくことにより業績回復に努めてまいります。

業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上